

山本直洋さん 機械システム工学科 2004 年卒業



◆ 経 歴

- 2004 年 武蔵工業大学機械システム工学科卒業
- 2004 年 株式会社プリズム入社
- 2005 年 株式会社プリズム退社
- 2005 年 New York Pier59Studios 入社
- 2006 年 New York Pier59Studios 退社
- 2006 年 岩尾別ユースホステル(知床)にてシーカヤックガイド
- 2006 年 ファッションフォトグラファーCassio に師事
- 2007 年 風景写真家事務所入社
- 2008 年 風景写真家事務所退社
- 2008 年 フリーランスフォトグラファーとして活動開始
- 2011 年 Therme Gallery 二人展「Northern・・・」
- 2012 年 ドラマ「ユーコンの友人」空撮映像撮影
- 2012 年 青池憲司監督映画「3月11日を生きて～石巻・門脇小・人びと・ことば～」空撮映像撮影
- 2013 年 映画「ガレキとラジオ」空撮映像撮影
- 2014 年 富士急ハイランドアトラクション「富士飛行社」空撮映像撮影
- 2015 年 Canon Gallery 写真展「ZIPANGU」
- 2015 年 雑誌旅の手帖「空の旅」連載開始
- 2016 年 Behind the Gallery 三人展「空海光」
- 2018 年 三菱自動車 PR 動画「雲海サーフィン」空撮映像撮影
- 2020 年 NTV「世界の果てまでイッテQ!」出演
- 2021 年 石川梵監督映画「くじらびと」撮影
- 2021 年 TBS「林先生の初耳学」出演
- 2023 年 MBS「情熱大陸」出演
- 2023 年 NHK BS-1 スペシャル「世界七大陸最高峰を飛びたい～空撮写真家・山本直洋の挑戦～」出演
- 2024 年 フジフィルムスクエア写真展「そらをとびたい」

◆ 本人コメント

僕は幼い頃から空を飛ぶ夢を見ていました。
覚えている限り一番古い夢は、ウルトラマンに変身して飛ぶ夢でした。
それからしばらくすると夢の中でドラえもんのタケコプターで飛ぶようになりました。
テレビ番組や漫画の影響で空を飛ぶ夢をみていたのだと思いますが、小学生高学年くらいになるとドラゴンボールという漫画のキャラクターが使う舞空術という技で空を飛ぶ夢を見るようになりました。
中学2年生から親の仕事の関係で3年半ほどノルウェーに住んでいたのですが、その頃には空を飛ぶ夢をコントロールできるようになっており、いつでも好きな時に自由に空を飛ぶ夢を見ることができるようになっていました。
この時に見ていた夢の世界はとてもリアルで、本当に世界の空を飛んでいるような感覚でした。
そのような夢を毎日のように見ていたので、自分はいつか空を飛ぶ仕事するんじゃないかと漠然と思っていました。
大学生時代は部活やサークルなどに熱中していたためかそのような夢は見なくなったのですが、就職活動の時には空を飛ぶ夢を思い出して航空会社の試験を受けたりもしました。
3年も留年してしまうほど勉学は苦手だったため当然航空会社の試験など受からず、なんとかソフトウェア開発会社に内定をもらいました。

武蔵工業大学卒業後ソフトウェア開発会社に就職し、SEとして会社員を経験しますが一年ほどで退職し、そこから写真家を目指すこととなります。実は学生時代には写真は撮るのも撮られるのも嫌いで全く興味がありませんでした。しかしSEを辞めて次の仕事を探している時に旅をしながらできる仕事はないかと考え、写真家ならそれができるのではないかと思いつき、中古でカメラを買ってみたいところ写真の面白さにハマりました。
ちょうどその頃本屋で立ち読みをしていてモーターパラグライダーの存在を知ります。
空を飛ぶのが幼い頃からの夢だったので、モーターパラグライダーで空撮をすれば空を飛ぶ夢も叶えられるし写真家として旅をしながら仕事ができるのではないかと思い、空撮写真家を目指すことにしました。
そこから独学で写真の勉強をし、パラグライダースクールに入って空撮の特訓をはじめます。このとき27歳でした。それからニューヨークのフォトスタジオで働いたりファッションフォトグラファーや風景写真家の助手を経験して独立。2008年からフリーランスフォトグラファーとして活動をはじめました。
独立してしばらくは写真だけでは生計を立てられず、35歳くらいまでは複数のアルバイトを掛け持ちしながら少しずつ写真や動画撮影の仕事を増やしていきました。

注) Therme Gallery (都立大学)、Behind the Gallery(神楽坂)共に現在閉鎖

2015年に念願のキャノンギャラリーでの個展を開催し、ある程度実績も積んではきたのですが写真業界で認められるような功績はなく写真家として鳴かず飛ばずの状態が続きました。

面白い仕事もたくさんしてきましたが、もっと自分が本当に撮りたいものを撮る仕事をしたいと思うようになりました。そこで昔から興味があった世界七大陸最高峰を、全てモーターパラグライダーで空撮することに成功すれば、世界初となるといったプロジェクトを計画し、それを自分の写真家としてのメインの仕事とすることにしました。

もちろんすぐには仕事にはならず、活動資金集めにはかなり苦労をしました。それでもなんとかプロジェクト第一弾としてタンザニアのキリマンジャロ、第二弾としてオーストラリアのコジオスコの空撮を実現し、2023年にはテレビ番組の情熱大陸やNHK BS-1 スペシャルとして特集番組にもなり徐々に知名度も上がってきました。

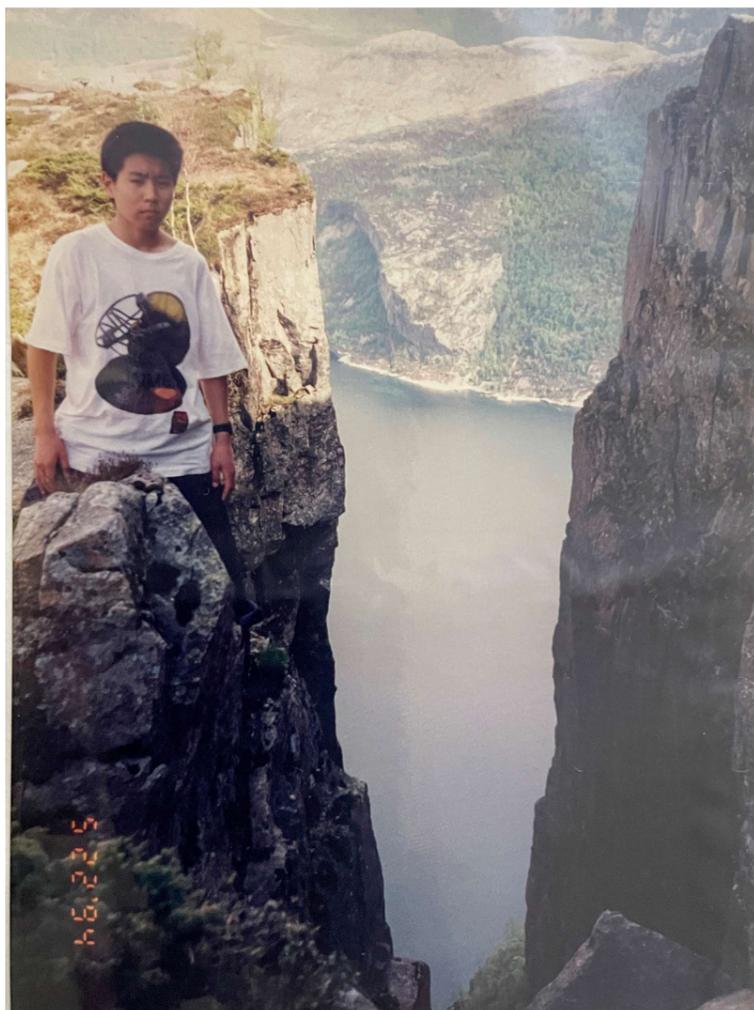
2024年にはフランスのモンブランの空撮に成功し、現在(2025年)プロジェクト第四弾としてアルゼンチンのアコンカグア空撮に向けて準備を進めています。

その後アラスカのマッキンリー、南極のヴィンソンマシフ、そして最終的には世界最高峰のエベレストを空撮するのを目標としております。

世界七大陸最高峰空撮プロジェクトは写真家としての作品を撮るだけではなく、現在の地球の自然を記録して学術的にも価値のある資料として残したいと考えています。プロジェクトを続けるためにはいろいろと苦難もあり時には命を落としかけるような事故も経験しましたが、それでもやめることなく続けていられるのは自分が心の底から本当にやりたいことだからです。

これからも自分が見たことのない世界を目指して飛び続けていきたいと思っております。

◆ 写 真



中学時代；フィヨルドをバックに
(ノルウェー)



空撮時：左手でエンジンとパラグライダーを
コントロールしながら右手で撮影をします



高度約 4,000m から撮影した富士山(静岡県)



世界七大陸最高峰空撮プロジェクト第一弾で
空撮したタンザニアのキリマンジャロ



世界七大陸最高峰空撮プロジェクト第二弾で
空撮したオーストラリアのコジオスコ



世界七大陸最高峰空撮プロジェクト第三弾で
空撮したフランスのモンブラン



竹田城址(兵庫県)



隠岐諸島西ノ島(島根県)



阿蘇山(熊本県)



完全装備写真